

第8回日本在宅医療連合学会大会 企業展示出展レポート

先日、令和8年度の普及活動計画により、7月4日（土）、5日（日）に札幌コンベンションセンターで開催された同学会企業展示に出展してまいりました。

出展にあたり、本会普及委員会での計画どおり、共同出展の会員企業2社（キューピー（株）、（株）吉野家）と共に出展いたしました。

本学会は、在宅医療の質向上と学術的基盤の強化のため、日本在宅医学会と日本在宅医療学会が統合して設立されたものとことです。多職種が協働し、地域で切れ目なく医療を提供できる体制づくりを進め、在宅療養者の尊厳と生活の質を高めることを目的としています。また、地域連携やICT活用など新たな課題にも学術的に取り組み、在宅医療の発展を図ることを目指しています。

普及委員会では、この趣旨から在宅療養者への情報提供者として同学会参集者が機能するとの見込みを立てて、市販用UDFの啓発先として選定し、協議会として今回初出展することといたしました。

出展に際しては、上記のとおり共同出展形式をとりました。普及委員会メンバーとしてはアサヒグループ食品（株）が過去数回出展しているのみで、本学会は食品メーカーの出展がほとんどないとの情報が共有されておりました。このため、協議会としての出展を機に、普及委員会メンバー企業との共同出展を計画した経緯です。

今回の同学会企業展示は、合計74社との事前情報がありましたが、医療機器メーカーが中心であり、食品に関連する企業は4～5社ほどと少ないものでした。うち、会員企業はアサヒグループ食品（株）、ネスレ日本（株）の2社でした。

当日の来場者数は、後日の主催者発表によると4,400名との報告でした。来場者の傾向としては、初日はセミナーや発表があるにもかかわらず、時間帯による切れ目もなく多くの来訪を受けました。

本会小間では、UDFサンプル配布によるアンケートを実施しましたが、2日間で267件回収できました。委員各社より提供を受けたサンプルを配布しましたが、初日で配布物が終了するほど盛況でした。

なお、アンケートから、来場者属性は、看護師50.6%（クリニック、訪問看護ステーション所属）

が最も多く、続いて医師11.6%でした。

出展を受けての感想としては、在宅医療従事者として、食支援が必要な被介護者を担当しているにもかかわらず、UDF認知率は40%（知っている22%、名前だけ18%）と低く、今後継続した啓発が必要と感じられました（日本摂食嚥下リハビリテーション学会（JSDR）でのUDF認知率は80%超）。

今回は東京開催であり、出展に有効な催事として会員企業へ周知を行っていく見込みです。



出展の様子

【会議、催事等の予定】

- 9月1日（火） 役員打合せ
- 9月11日（金）～13日（日） 第32回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
- 9月15日（火） 第3回業務用WG
- 9月16日（水） 役員打合せ
- 9月18日（金） 役員打合せ
- 9月29日（火） 第2回容器包装研究会

【UDF商品登録状況（2,284品目・7月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	16	4	0	64	5	89
冷凍食品	338	294	780	60	0	0	1,472
常温食品	230	49	266	177	1	0	723
合 計	568	359	1,050	237	65	5	2,284

【会員の異動（7月）】

計88社（7月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡下さい。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>